

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

| | | | | | | | | | |
|---------|--|--|---|------------------------|-------|--|------------------------|---|--|
| 事業番号 | | 15 08 03 | 中期総合計画主要施策番号 | | 4-01 | 担当課 | 部・課 | 教育委員会事務局 保健厚生課 | |
| 事業名 | | 子どもの安全体制整備等推進事業 | | | | 内線 | 4447 | | |
| | | | | | | E-mail | hokenko@pref.nagano.jp | | |
| 事業の概要等 | 事業の目的 | 学校への不審者侵入防止及び児童生徒の登下校時の安全確保を図る。 | | | | | | | |
| | 事業の必要性 | [現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・学校への不審者侵入防止策の周知徹底が十分とはいえない。 ・地域ぐるみで子どもを見守る体制の整備が全ての地域で進んだとはいえない。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 子どもの安全を守るボランティア組織づくりのためのノウハウが全ての地域に広がっているとはいえない。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・不審者侵入防止のための学校の体制づくりを進める必要がある。 ・登下校時の児童生徒の安全が確保されるために、地域と連携した組織の設置が必要である。 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 事業内容 | スクールガード・リーダーを委嘱し、県内全小・中・特別支援学校の通学路及び校内安全体制についての指導・助言の実施 国委託事業【国】10/10 | | | | | | | |
| 実施期間 | H17 ~ H20 | | 根拠法令等 | 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業委託要項 | | | | | |
| 成果と達成状況 | 事業の目指す成果 | | 達成度(期待どおり)の判定基準(H20) | | | 達成状況 | | 評価 | |
| | ・学校への不審者侵入防止のための体制を整備する。 ・登下校時の児童生徒の安全確保を図るため、地域による見守り活動を行う組織を整備する。 | | ・学校での防犯教室講習会や防犯訓練等の実施により不審者侵入防止策を周知徹底する。 ・通学路で子どもの安全を見守る学校安全ボランティアを増加させる。 | | | ・地域の関係団体と連携した学校安全のための組織づくりが進み、地域全体で子どもの安全を守るという体制の整備がされた。 ・スクールガードリーダーの巡回指導により、センサー付き防犯灯の設置の検討や、来校者チェックの見直しがされるなどの成果が見られた。 ・スクールガード養成講習会により、新たに55名の学校安全ボランティア(スクールガード)が誕生した。 | | a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下 | |
| 事業コスト | 区 分 | | 単位 | 19年度 | 20年度 | 21年度(当初) | 20年度の概要 | | |
| | 最終予算額 (A) | | 千円 | 12,703 | 9,204 | | 国庫・県単 | 国庫 | |
| | 決 算 額 (B) | | 千円 | 8,896 | 6,404 | | 実施方法 | 直接 | |
| | B(H21はA)のうち一般財源 | | 千円 | 0 | 0 | | 歳出節別内訳等(単位:千円) | ・報償費:4,440 ・使用料: 34 ・旅 費: 244 ・需用費: 485 ・役務費: 21 ・委託料:1,180 | |
| | 概 算 人件費 | 従事する職員数 | 人 | 0.12 | 0.12 | | | | |
| | 概算事業費 (B(H21はA)+C) | | 千円 | 9,753 | 7,262 | | | | |
| 事業実績 | 内 容 | | 単位 | 19年度 | 20年度 | 21年度(予定) | 左記以外の20年度の実績 | | |
| | スクールガードリーダーによる学校訪問(1人当たり平均) | | 回 | 28 | 21 | | | | |
| | 学校安全ボランティア(スクールガード)養成講習会の開催 | | 回 | 6 | 1 | | | | |
| 事業の課題 | 区 分 | | 判 定 ・ 説 明 | | | | | | |
| | 事業のニーズの変化 | | 増加 | 横ばい | 減少 | 判定の説明 (廃止) | | | |
| | 県の関与を見直す余地 | | 余地なし | 当面余地なし | 余地あり | | | | |
| | 有効性を高める余地 | | 余地なし | 当面余地なし | 余地あり | | | | |
| | 効率性を高める余地 | | 余地なし | 当面余地なし | 余地あり | | | | |
| | 課題の総括 | | 国の委託事業として、H17から「学校安全のための地域連携推進事業」、H19から「子どもの安全体制整備等推進事業」として実施してきたが、地域全体で子どもの安全を守るという体制の整備がされたため、本事業は終了する。しかしながら、学校安全対策の推進が必要であることには変わりはないので、今後も、市町村教育委員会及び県警察本部等と連携しながら進めていく。 | | | | | | |